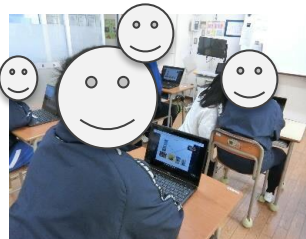


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	倉敷支援学校	実践者名	久津間 友紀
実践場面 (教科)	教科 情報		
単元・題材名	「冬休みに観たい映画やアニメの紹介をしよう」		
学習目標・ねらい	・ キーボードの扱いに慣れ、調べたいものを検索することができる。 【知・技】 ・ 映画やアニメの画像を4つのカテゴリーに分類することができる。 【思・判・表】 ・ 冬休みに観たい映画やアニメに興味を持って調べることができる。 【学】		
対象の児童生徒の 実態	・ 個人のスマートフォンを使いインターネットで検索することができる生徒もいれば、一人では検索が難しいが大人と一緒にであれば検索することができる生徒もいる。ほとんどの生徒は普段から家でもiPadを用いて動画や画像を見ており、タブレット端末の扱いには慣れている生徒が多い。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
① ロイロノートを用いて、いくつかの映画やアニメを、自分で感じた思いのカテゴリーに分類する。 1. おもしろい 2. 感動する 3. 観てみたい 4. 分からない   ○指で画像を動かすことに苦戦しつつも分類できた。 ② 分類したカードを提出ボックスに提出し、クラスで発表する。 ○全員の映画の分類表を共有できたことによって、一人一人が映画に対してどのような思いがあるのかを知ることができた。 ○発表をされていて、感想だけでなく、どのような内容の映画・アニメだったかを自ら説明する生徒もいた。  ③ 自分でクラスに紹介したい映画・アニメを検索し、紹介カードを作成する。 ○自分の観たい映画やアニメということで、パソコン操作が難しい生徒も意欲的に調べようとする姿が見られた。 			
活用のポイント・改善策等			
冬休みに入る前に端末の使い方を知ってもらう良い機会として、日頃からなじみのある映画やアニメを紹介するという課題設定で授業を行った。その結果、クラスの生徒一人一人の映画やアニメに対する感じ方の違いや、自分と似ている感じ方を持ったクラスメイトを知る機会ともなった。また、「自分が観たい」というテーマにしたことから、意欲的にインターネットを利用して検索する姿が見られた。改善策としては、キーボード操作に慣れない生徒もいるので、キーボード表を手元に置くと良いと感じた。また、平仮名やアルファベットが読めない生徒についても、同じ形を探してキーボードを打てるようにする等、カード等の支援グッズを用意するようにする。			